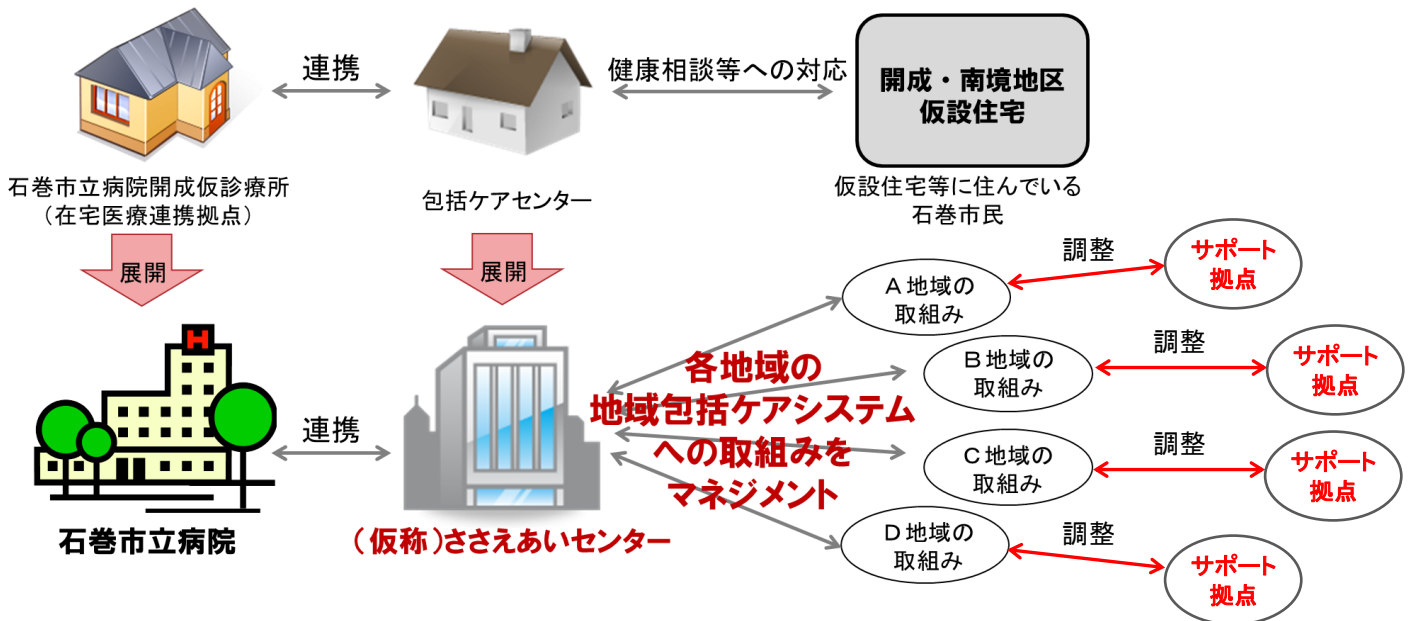


まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

個別施策	具体的事業	事業目的・内容／取組実績	K P I
被災者支援	<p>コミュニティ形成支援補助事業・復興公営住宅コミュニティ促進事業</p> <p>■ H27 予算額 16,200,000 円</p>	<p>【事業目的・内容】</p> <p>震災の影響で町内会等による祭りなどのイベント等の開催が自粛され、コミュニケーションづくりの場が少なくなっていることから、住民主体で開催する交流事業やイベントなどの事業に助成を行い、町内会組織等の再生と仮設住宅団地及び復興公営住宅入居者のコミュニケーションづくりやコミュニティの育成促進を図る。</p> <p>【取組実績】</p> <p>○市内に設立されている町内会や仮設住宅団地の自治会組織等に対し、1 団体年 1 回 10 万円を限度として補助金を交付した。また、平成 27 年度からの追加事業として復興公営住宅の入居者と周辺住民との交流会等に 1 復興公営住宅につき 1 回限り 10 万円を限度とし補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏まつり（盆踊り） ・敬老会、環境美化活動 等 	<p>申請件数 30 件</p>

＜地域包括ケアサポート拠点について＞

地域包括ケアの調整役として、既存の包括ケアセンターや総合支所、地域包括支援センターが担うことが想定されます。また、仮設住宅等から復興公営住宅等への転居に伴い、被災した市民が集中する地域（**新蛇田地区**）や既存の総合支所、地域包括支援センターだけでは調整役を担いきれない地域（**雄勝地区、北上地区、牡鹿地区**）には、新たに「地域包括ケアサポート拠点」を設置します。



	(仮称) ささえあいセンター	各拠点 (包括ケアセンター、総合支所、地域包括支援センター)		
多職種連携	1	<ul style="list-style-type: none"> □ 社会福祉協議会、ケアマネジャー協会等と連携した人材育成・確保 ✓ 社会福祉協議会(宮城県サポートセンター支援事務所も含む)、ケアマネジャー協会等と連携した介護従事者向けの研修 	1	<ul style="list-style-type: none"> □ 現行の地域包括支援センターが担っている役割と同等の内容 ✓ 特に総合相談窓口の強化
	2	<ul style="list-style-type: none"> □ 地域を跨ぐサービス調整 ✓ 医療・介護資源が乏しい地域に対するサービス調整 	2	<ul style="list-style-type: none"> □ 定期的な関係者会議(顔の見える会議) ✓ 民生委員、地域福祉コーディネータ、各地域の総合支所の保健師、介護事業者、医師、薬剤師、歯科医師等にも声がけ(可能な範囲でインフォーマル事業者にも声がけ) ✓ 積極的に各地域の医療資源・介護資源を活用するための連携
	3	<ul style="list-style-type: none"> □ 各地域の取り組みを活性化するための勉強会の開催 ✓ 各地域包括ケアシステムの取り組みを活性化させることを目的とした勉強会や好事例等の発表会の実施 		
インフォーマルサービス	4	<ul style="list-style-type: none"> □ インフォーマルサービスの全体管理 ✓ 各地域で把握しているインフォーマルサービスを一元的に管理(地域を跨ぐサービス調整) 	3	<ul style="list-style-type: none"> □ 当該地域におけるインフォーマルサービスの把握 ✓ 各地域で活動しているインフォーマルサービス(民間企業、NPO、ボランティア)の把握
情報連携	5	<ul style="list-style-type: none"> □ 高齢者情報の一元管理 ✓ 先進的取組みを参考に高齢者情報の共有・促進(紙、ICT問わず) □ 書式の統一 	4	<ul style="list-style-type: none"> □ 高齢者情報の共有・促進 ✓ 先進的取組みを参考に高齢者情報の共有・促進(紙、ICT問わず)
市民の転居への対応	6	<ul style="list-style-type: none"> □ 高齢者人口等を考慮した人材配置 ✓ 上記の専門職の適材適所の配置 		
	7	<ul style="list-style-type: none"> □ 転居者の管理や転居に伴う転居者の引継ぎ管理 ✓ いつ・誰が・どこに引越すかを把握するとともに、誰から誰に引き継げばよいか管理する(各総合支所で管理している内容と整合性を図る) 	5	<ul style="list-style-type: none"> □ 転居してくる／していく市民の引継ぎ ✓ 公平・中立の立場による引継ぎ管理

包括ケアセンター事業（多職種連携会議の開催）

被災者健康支援の共通理解と関係機関の活動の相互理解を図る。さらに多職種で被災者の支援課題等を共有することにより、専門性を活かした対策を検討する場とし、事業受託している支援事業所及び行政との定例会議を月1回、包括ケアセンターで開催している。

（会議で挙げた内容については、各関係課にも情報提供し、検討の働きかけを行っていく機会とする）

〈関係機関〉

- ① 宮城県看護協会 ② 石巻市社会福祉協議会 ③ みやぎ心のケアセンター
- ④ からころステーション ⑤ 基幹相談支援センターくるみ ⑥ 日本医療社会福祉協会
- ⑦ 宮城県東部保健福祉事務所 ⑧ 宮城県東部地方振興事務所

* 石巻市：健康推進課・生活再建支援課・開成仮診療所・介護保険課・包括ケアセンター
（必要に応じ）福祉総務課・地域協働課・復興住宅課・住宅管理課 等



《今後に向けて》

今後の多職種連携会議については、『在宅医療・介護連携推進』の観点から、要支援者・要介護者に関わる地域包括支援センター及び居宅介護支援事業者と医師及び歯科医師等を始めとする、医療関係者及び看護関係者の専門職間との共通理解と関係づくりを進め、連携における課題について検討していく場面を設けていく予定である。

*平成28年6月から7月にかけて、市内12地域包括支援センターと47の居宅介護支援事業所に対し、アンケート及び聞き取り調査を行っている。

現在、それぞれの課題の整理を行っており、それぞれの職能団体と事業所との協議を検討している。

*各関係機関

- ① 医師会 ② 歯科医師会 ③ 訪問看護ステーション
- ④ 医療連携室（石巻地域連携実務者ネットワーク） ⑤ リハビリテーション（東部保健福祉事務所）

地域包括ケア研修会の開催（平成27年度実績）

地域包括ケアシステムの構築に向け、

① 一般市民向け：地域包括ケアシステムに関する普及啓発（2回）、② 医療・介護の専門職向け：『多職種連携』、『認知症対策』体制構築（5回）を目的とした研修会を計7回実施。

①一般市民向け：地域包括ケアシステムに関する普及啓発研修



開催日・参加者数	内容	講師
H27.10.10 (226人)	<p>タイトル：『我が家が一番！ ～在宅医療と介護のこれから～』</p> <p>内容：高齢期の在宅での生活に不安のある市民を対象に、在宅医療・介護の実情を講演、寸劇等で説明。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日下 潔 院長 (祐ホームクリニック石巻) ・石巻在宅ケア連絡会 メンバー (市内医療介護専門職)
H28.1.29 (340人)	<p>タイトル：『地域で命を支える ～がんになっても脳卒中になってもその人がその人らしく生きるために～』</p> <p>内容：地域医療の先駆けである鎌田先生を招聘し、医療にかからない健康づくりと地域包括ケアシステムについての講演を頂いた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌田 實 名誉院長 (諏訪中央病院)

②医療・介護の専門職向け：『多職種連携』、『認知症対策』体制構築研修



開催日・参加者数	内容	講師
H27.8.28 (21人)	被災地における在宅医療・多職種連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・佐藤 保生 医師 ・阿部 朋美 訪問看護師
H27.8.30 (21人)	復興公営住宅移行期の被災者支援体制	<ul style="list-style-type: none"> ・増田 敬 会長 (石巻仮設住宅自治連合推進会) 他
H27.11.13 (124人)	認知症の人と家族を取り巻く課題と取組	<ul style="list-style-type: none"> ・高見 国生 代表理事 (認知症の人と家族の会)
H28.2.27 (170人)	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種協働による認知症支援 ・在宅医療推進に係る専門職研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎 和加子 事務局長 (全国訪問看護事業協会)
H28.3.15 (177人)	地域リハビリテーションに関するリハビリテーション職向け研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・澤村 誠志 名誉院長 (兵庫県立リハビリテーションセンター中央病院)

公益社団法人 石巻市シルバー人材センターについて

- 【法令】 高齢者等の雇用の安定等に関する法律第41条
- 【目的】 定年退職者やその他高齢退職者の希望に応じ、臨時的かつ短期的簡易業務などの就業の機会を提供し、その者の能力を積極的に活用することで、高齢者の福祉の増進を目的として設立された法人。
- 【概要】
- ・昭和63年8月15日設立、同年9月1日業務開始
 - ・平成17年4月、河南シルバー人材センターと合併、同年7月河北支所を新設
 - ・平成19年7月、事務所を門脇から南中里へ移転
 - ・事務所の敷地面積 549㎡
 - ・建物の延床面積 379.8㎡（鉄筋コンクリート2階建）
 - ・駐車場の面積 800㎡（都市計画道路「七窪蛇田線」整備事業予定地）
 - ・資材置場の面積 456㎡（旧シルバー人材センター事務所敷地）
- （敷地、建物等は全て市有で、高齢者雇用促進の観点から無償で貸与している。）
- ・年会費は3千円（H19まで1千円）※値上分2千円は団体傷害保険掛金分に相当。
 - ・職員数5名（全員本所） ※期間職員の雇用期間は本所が3年、他は1年間
 - 職員内訳：常務理事兼事務局長、次長兼業務係長、主幹兼経理係長、主任主事、主事、期間職員3名（河北支所長・本所2人）
 - ・河南支所は震災による建物被害のため、震災後、建物を閉鎖している。
 - ・平成25年4月1日公益社団法人へ移行

【補助金実績】

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
市補助金	23,750,000円	23,750,000円	23,750,000円	23,750,000円	23,750,000円	23,750,000円
国庫補助金	10,750,000円	7,100,000円	7,100,000円	7,100,000円	7,280,000円	10,750,000円

【業務の受注実績】

年度	受注件数	受注金額		受注割合
		うち公共団体発注分		
22	5,022件	224,175,547円	164件 32,212,779円	14.37%
23	3,744件	220,363,534円	158件 61,980,585円	28.13%
24	3,997件	277,533,204円	143件 96,642,918円	34.82%
25	4,100件	295,843,456円	167件 107,617,265円	36.38%
26	4,298件	294,811,887円	140件 106,248,168円	36.04%
27	3,959件	262,362,075円	130件 71,827,189円	27.38%

【年代別会員数】

年度	会員数					初回就業人数累計 (B)	就業率 (B)÷(A) (%)	就業延人員 (人日)
	60才未満	60～64才	65～69才	70才以上	計 (A)			
22	0人	108人	174人	221人	503人	522人	103.8%	39,761人
23	0人	75人	168人	225人	468人	380人	81.2%	35,323人
24	15人	62人	158人	231人	466人	419人	89.9%	43,312人
25	2人	61人	148人	237人	448人	452人	100.9%	47,647人
26	0人	50人	139人	234人	423人	428人	101.2%	47,647人
27	0人	60人	143人	224人	427人	412人	96.5%	45,839人

【職群別就業実績】

年度	区分	技術技能	事務管理	折衝外交	一般作業	サービス	計
27	受託件数 (件)	0	1,431	56	14	15	2,440
	就業延実人数 (人)	0	3,543	101	296	167	9,317
	就業延人員 (人日)	0	7,164	607	3,751	1,302	32,903
	契約金額 (円)	0	48,950,422	1,692,784	17,034,209	5,717,832	188,210,528
						756,300	262,362,075

【発注者別就業実績】

年度	区分	公共団体	公社公団等	民間企業	一般家庭	独自事業	計
27	受託件数 (件)	130	0	661	3,168	0	3,959
	就業延実人数 (人)	1,543	0	3,130	8,766	0	13,439
	就業延人員 (人日)	10,209	0	2,222	13,408	0	25,839
	契約金額 (円)	71,827,189	0	99,392,691	91,142,195	0	262,362,075

【石巻市通所型サービス支援事業概要】

要支援者を中心とした高齢者の心身の健康保持及び要介護状態の予防、地域での支え合い体制を推進し、いつまでも住み慣れた地域で暮らせるための活動を支援する。

1 目的

65歳以上の要支援者及び事業対象者(以下「要支援者等」という。)を対象に介護予防・生活支援サービスを提供する、住民主体(ボランティア)による通所型サービスに対し、補助金を交付することにより、高齢者等の社会的孤立の解消、心身の健康保持及び要介護状態の予防並びに地域の支え合い体制を推進することを目的とする。

2 事業内容

個人又は団体が集会所等を利用し、**要支援者等を中心に**障害者、子供、高齢者等に対し、体操、運動等の活動、趣味活動等を通じた日中の居場所づくり、定期的なサロン等の通所型のサービスを提供する。

3 活動内容

- (1)実施回数 週1回以上の実施
- (2)実施時間 1回2時間程度で6か月以上継続実施
- (3)参加対象者 65歳以上の要支援者等が5人以上参加していること。
(一般高齢者や障害者、子供等も参加可能です。)

(4)主な活動例

お茶のみ会、料理を持ち寄っての昼食会、料理教室、季節の行事などのお楽しみ会、手芸体操(ラジオ・ダンベル・ロコモ)、手芸、囲碁、麻雀、健康講座、カラオケ、畑作り、草取り、花作り、ゲートボールやグランドゴルフなど

* 高齢者が楽しく活動できるような内容で実施

4 補助額

要支援者及び事業対象者一人あたり1回 1,000円
(月額上限 50,000円)

石巻市都市公園愛護会結成について

石巻市都市公園愛護会は、石巻市の都市公園を、明るく清潔で心地よいものとするため、また、公園に対する愛護精神の高揚を図るため、地元団体（町内会・老人会・婦人会・子供会育成会等）が中心となり結成する。

市の助成として、結成された愛護会と石巻市都市公園愛護業務委託契約を結び、業務委託料が支払われる。

業務内容

1 公園の清掃及び除草作業

清掃は月2回とし、紙くず、空き缶、空きびん、ガラス片等を拾う。除草は年6回以上とし、広場や花壇内を除草する（時期は主に6月から9月を重点的に行う）。収集したものは、袋に入れ、公園内に置く（利用者の不便とならない場所に置き、都市計画課へ連絡をする）。

2 公園の施設点検業務

点検業務は、主に樹木、遊具、水道、便所の施設とする（利用上危険な箇所を発見したときは、直ちに都市計画課へ連絡をする）

樹 木：主に夏期の害虫、台風等の被害による枯死、倒木等

遊 具：ブランコ等の吊金具、チェーン接点のすり減り破損、滑り台等の溶接部分のさびによる破損、ボルト・ナット損失、塗装の剥離等

ベンチ：ボルト・ナットの破損、塗装の剥離、木部の腐食等

柵：破損、塗装のはくりや鎖、金網の破れ、銅緑の腐食等

水 道：メータの破損、水漏れ、蛇口の把手の損失や破損、排水口の不良等

便 所：強風によるドアの破損、取手破損、清掃業者の清掃状況のチェック等

3 施設の補修業務

補修業務は、主に2の項であげられたもののうち、簡易なものを行う。

樹 木：樹木が支柱から外れたもの。害虫の卵や発生が小規模なもの等

遊 具：ブランコ等の鎖のからみ、ボルト・ナットのゆるみ等

ベンチ：ボルト・ナットのゆるみ等

柵：破損箇所子供の通り抜け可能な所は、すぐ修理する等

4 委託料

基本額	1公園当たり	23,000円
	面積割（都市公園）	8円/m ²
	面積割（開発・児童遊園）	6円/m ²

旧石巻ハリストス正教会教会堂復元事業

概要

北上川河口部、石巻市中瀬にあり、東日本大震災で倒壊は免れたものの津波により壊滅的なダメージを受けた石巻市指定文化財旧石巻ハリストス正教会教会堂を復元し、中心市街地に連なる中瀬地区の文化的な観光交流施設として活用する。

平成25年度

- ・解体格納工事

平成28年度

- ・実施設計
- ・復元工事（29年度繰越予定）
- ・工事監理（29年度繰越予定）

平成29年11月工事完成予定

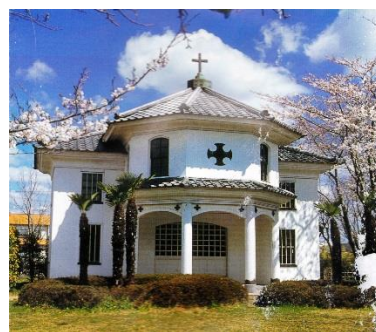
目的・効果

本事業は、現存する最古の木造教会といわれる歴史的建造物、石巻市指定文化財旧石巻ハリストス正教会教会堂を復元保存し、震災復興のシンボルとして位置付けるとともに、市民共有の財産として保存活用を図るもので、中心市街地、中瀬公園の活性化の一助となるものである。

復元後は震災前同様無料公開とし、一部に展示パネルや展示ケースを設置するもので、石巻の豊かな文化遺産を公開することにより、全国から訪れる方々へ石巻地域の歴史文化について理解を深めていただくことを目的とした施設とする。

※旧石巻ハリストス正教会教会堂

- | | |
|-------|------------------------|
| 明治13年 | 建設（千石町） |
| 昭和53年 | 宮城県沖地震により被災 |
| 昭和55年 | 中瀬に移築、市に寄贈。石巻市指定文化財に指定 |



かんけい丸保存活用事業

概要

石巻市の中心市街地に位置し、木造3階建てタイル貼りの建物として全国的に有名な「旧観慶丸商店」の建物について保存修復し、中心市街地における文化的な観光交流施設として活用する。

平成26年度

- ・調査設計

平成27年度

- ・改修工事（28年度繰越）
- ・工事監理（28年度繰越）

平成29年2月工事完成予定

目的・効果

本事業は歴史的建造物を保存するとともに、文化財展示スペースを新たに整備するもので、市街地再開発事業や復興公営住宅の整備により、復興を推し進めている中心市街地の活性化の一助となるものである。

具体的には、主に1階、2階部分を補強・改修し、整備予定の複合文化施設のサテライト展示とするもので、石巻の豊かな文化遺産を中心市街地に展示することにより、全国から訪れる方々へ石巻地域の歴史文化について理解を深めていただくことを目的とした施設とする。

※旧観慶丸商店

- | | |
|-------|--------------------------|
| 昭和5年 | 建設（店名は創業者が沖船頭をしていた船名に由来） |
| 平成25年 | 前所有者より建物の寄贈を受ける。 |
| 平成27年 | 石巻市指定文化財として指定 |



【空き家等活用・移住促進事業】

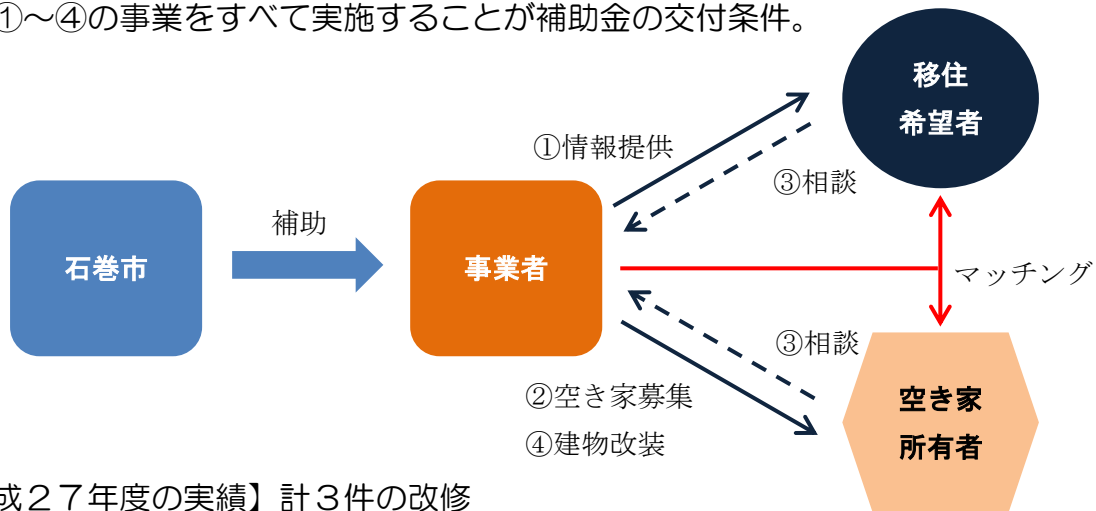
【事業概要】

空き家、空き店舗及びそれらの一部を活用して、移住希望者及び中長期滞在希望者向けの居住施設を整備するとともに、移住希望者等が定着するための取組みを実施する事業者に対して補助金を交付するもの。

【補助対象事業および補助率等】

項目		事業内容	補助率	上限額
ソフト	① 移住希望者等向け情報提供事業	移住希望者を募集するためのウェブサイトの構築、パンフレットの作成、説明会、セミナーの開催等	10割	1団体あたり300万
	② 受入態勢整備調査事業	空き家を提供する建物所有者を募集するためのウェブサイトの構築、パンフレットの作成、説明会、セミナーの開催等		
	③ 相談等事業	移住希望者が入居した場合に、定着するための相談会や地元との交流会の実施		
ハード	④ 建物改装事業	移住希望者を受け入れるための居住機能及び入居後の交流を行うための機能を整備するための建物改装、設備設置	5割	1件あたり400万

※①～④の事業をすべて実施することが補助金の交付条件。



【平成27年度の実績】計3件の改修

○中央二丁目・・・床張替え、屋根修繕、キッチン補修等

アーティストが居住できる空間として整備、Reborn-ArtFestivalに参加するアーティスト7月から入居予定。

○山下町・・・下水配管工事、便器リフォーム等

仙台市から移住した石巻若者サポートステーションの職員が、自室兼シェルーターとして活用。

○鮎川・・・浴室の修繕、内部仕上の修繕等

地域コミュニティスペース兼シェアハウスにリノベーションし、コミュニティスペースを移住者が運営できる施設として改修

スマートな地域資源活用創造（プロデュース）事業の概要

移住コンシェルジュ

- ①移住希望者からの総合相談窓口
- ②お試し居住体験の企画
- ③各事業との連携調整など

人材育成

地域活躍支援事業

- ①石巻チャレンジワーキング
- ②石巻版松下村塾
 - ◆起業の機会の創出
 - ※起業に向けたWS
 - ※地元起業者への就業体験
 - ◆担い手育成
 - ※担い手育成講座（技能取得講座）
 - ※新商品や新たな特産品開発

移住支援

地域交流・定着支援事業

- ①地域との交流イベント実施
- ②起業者との個別相談会
- ③移住者同士との交流

住宅支援

空き家等活用・移住促進事業

- ①空き家の選定及び改修
- ②D I Y体験の企画等

地域活躍支援推進事業

- ①総合情報発信（強力な情報発信やブロッガー育成等）
- ②団体調整業務



「震災」から学ぶ・生きる・未来を考える
地域に触れる・体験する

アクティブラーニング プログラム

Active learning program



モデルコースのご紹介① Modelcourse

石巻市

日帰りコースと1泊2日コース



コンテンツのご紹介 Content introduction

石巻市 01 石巻観光ボランティア協会 石巻・大震災まなびの案内



POINT
東日本大震災の被災状況や当時の体験談、復興状況をガイドがバスに乗って案内。

震災4ヶ月後の7月より開始。石巻市は東日本大震災により大きな被害を受けました。被災状況や当時の体験談など、震災を語り継ぐ防災教育活動を行っており、現在は復興状況も説明しています。
所要時間：1時間30分 案内実績：バス3,575台・人員94,612名 (平成23年8月~平成28年3月)

所在地：石巻市新築場8-11(石巻観光協会内) [JR石巻駅から徒歩1分]
活動団体名：石巻観光ボランティア協会
連絡先：E-mail info@i-kanko.com
TEL：0225-93-6448 FAX：0225-22-2710 HP：http://www.i-kanko.com

石巻市 02 災害を乗り越えた地域力から学ぶ 石巻市牡鹿半島の「浜へ行こう!」



POINT
漁師作業体験・ものづくり体験・養殖場見学・料理交流体験・マリンスノー体験・お祭り体験・防災教育等様々な体験メニューがございます。

震災を境に支援者・ボランティア等多くの方々が浜を訪れました。「浜へ行こう!」はその方々に感謝の想いを伝えたい、より多くの方々と交流を積みたいとの思いから「未来の浜づくりのための交流の場」として2012年から始まった浜の新しい取組。世界三大漁場に突き出した半島で様々な体験を通じ住民と交流することで「見て・聞いて・感じて」人との繋がりができる場所です。

所在地：石巻市赤浜字家前58-1 [実施する浜により変わります]
活動団体名：浜へ行こう!実行委員会 (窓口：一般社団法人おしかりん)
連絡先：E-mail office@oshikalink.com
TEL / FAX：0225-28-6290 HP：http://hama-e-iko.com

石巻市 03 MORIUMIUS LUSAIL



POINT
こどものための複合体験施設。糧食を共にしながら農漁林体験や循環する暮らしが体験できます。

2002年に原校になった旧奈浜小学校。東京駅舎と同じ雄勝石スレートの遺構を持つこの場所をもう一度学び舎として再生。三陸復興国立公園の中で農林漁業や料理・木工などが体験できます。雄勝の豊かな自然とそこに生きる人たちの交流を通してこどもの生きる力を生むため、それぞれ違ったバックグラウンドを持つスタッフとともに多様な学習プログラムを考え、こどもたちの自発的な成長をサポートします。

所在地：石巻市雄勝町奈浜字奈浜60 [JR石巻駅より車で約1時間]
活動団体名：公益社団法人sweet treat311
連絡先：E-mail info@moriumius.jp
TEL：0225-25-6506 FAX：0225-25-6830 担当：本郷 引地 HP：http://www.moriumius.jp/

石巻市 04 石巻魚市場



POINT
漁港施設見学、震災ビデオ・復興ビデオ鑑賞、研修室・会議室を使って「震災・防災セミナー」を聞くことができます。

世界三大漁場の一つ「三陸・金華山沖」をひかえ日本有数の水揚げ量を誇ってきました。東日本大震災により漁港施設が壊滅的な被害を受けましたが平成27年9月より新市場が全面供用開始されました。全長880m世界最大級と言われ、見学ゾーン、タッチパネルでの説明、見学者研修室、会議室があります。見学ゾーンではセリを見学できます。※6:30~7:30事前申請

所在地：石巻市魚町2丁目14 [JR石巻駅より車で約15分]
活動団体名：石巻魚市場。セミナー開催は石巻観光協会へ相談
連絡先：E-mail isfishmk@city.ishinomaki.lg.jp
TEL：0225-96-1021(水産部地方漁市場管理課) FAX：0225-24-9633(〒) HP：http://www.isluo.jp

石巻市 05 石巻市復興まちづくり情報交流館「中央館」



POINT
震災の記録、復興の進捗状況、石巻の未来のまちづくりが1カ所です。館長が英国人ですので英語での対応も可能です。

東日本大震災からの復旧及び復興事業の進捗、地域におけるまちづくりの取組に関する情報並びに震災から得た知識及び教訓を発信し、震災により被害を受けた市民同士の意見交換又は来訪者との交流の場を創出するため作られました。

所在地：石巻市中央2丁目8-11 [JR石巻駅より徒歩約15分]
活動団体名：石巻市復興まちづくり情報交流館運営協議会
連絡先：E-mail ishinoimakic@guitar.ocn.ne.jp
TEL：0225-98-4425 FAX：0225-98-4119

石巻市 06 石ノ森萬画館



POINT
石ノ森万太郎のマンガミュージアム。講話・マンガの魅力とそれによって笑顔を取り戻した子供たちがいきました。マンガの持つ力を実感できる話です。

仮面ライダーやサイボーグ009などで知られるマンガ家石ノ森万太郎のマンガミュージアム。貴重な原画や様々な展示物・アドラクションなどを満喫できます。2012年11月多くの寄付金やボランティアの支援により再開。マンガで子供たちを笑顔にしたい、石巻の復興の力になりたい、「マンガの力」を信じて今も進んでいます。

所在地：石巻市中須2-7 [JR石巻駅より徒歩約15分]
活動団体名：(株)街づくりまんぼう (石ノ森萬画館運営管理者)
連絡先：E-mail info@manga-kan.com
TEL：0225-96-5055 FAX：0225-96-5045 HP：http://www.man-bow.com/manga/

石巻専修大学地域連携助成事業

1. 概要

石巻専修大学が取り組む地域連携活動(市民向け開放講座を行う社会還元事業)、教育研究活動事業(地域に関する研究を行う研究プロジェクト事業)を助成金の交付により支援する。

2. 目的・効果

大学が行う地域連携事業を助成金の交付により支援することで、地域社会の発展と人材の育成及び学術の振興に寄与することを目的とする。

石巻専修大学が主体的に行うことにより、一層の地域貢献(大学と市民の交流機会の拡大、まちなかへの人の流れの創出、本市特有の課題解決(震災復興関連、漁業関連、観光関連など))などに寄与することが期待できる。

3. 助成金額

1000万円

※助成対象事業に必要な経費の2分の1以内の額を予算の範囲内で助成する。

4. 平成27年度助成対象事業(9件)

(ア)研究プロジェクト事業

- 東日本大震災による被災と学生の健康指標等の関係に関する調査研究
- 宮城県産ギンザケの質的優位性と市場適応性に関する研究
- 石巻まちあるきコースマップの製作Ⅱ—まちあるきマップ制作手法の構築に関する研究—
- 二市一町の小学校における学習支援の現状と目的及び組織的地域連携の在り方
- ドローン活用によるシカ駆除の効率化と生息数の把握
- 石巻圏域移輸出入率推計～地方版総合戦略に向けて～

(イ)社会還元事業

- 発達障害児をもつ母親への育児支援と支援者養成

(ウ)石巻専修大学と石巻市による地域連携事業

- オープンデータ活用による犯罪発生情報共有システムの開発
- 石巻市の食文化を生かした製品開発の方策に関する研究

石巻市 学生アンケート結果の概要

○アンケート実施時期 平成27年7月中旬

○回収票数計 1178票

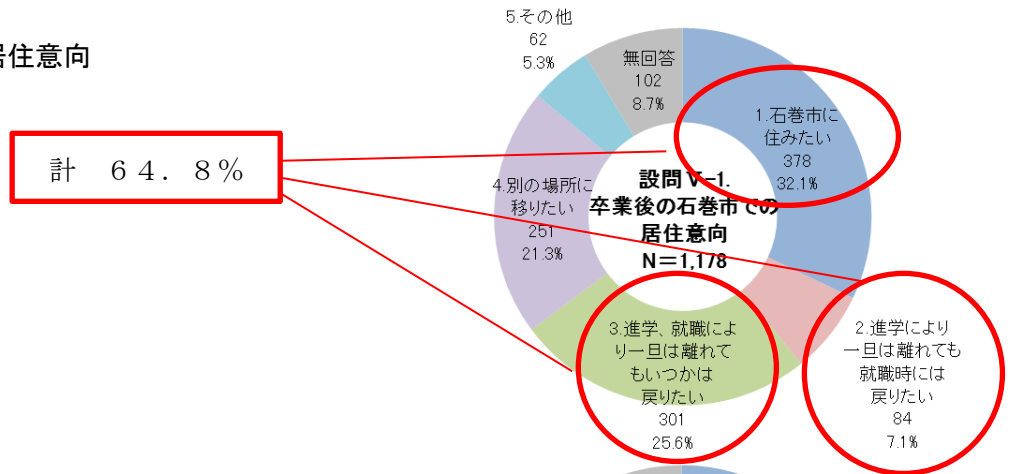
(市内7高校計：石巻高等学校、石巻好文館高等学校、石巻工業高等学校、石巻商業高等学校、石巻北高等学校、石巻市立桜坂高等学校、宮城水産高等学校)

設問V. 石巻市での居住についておうかがいします

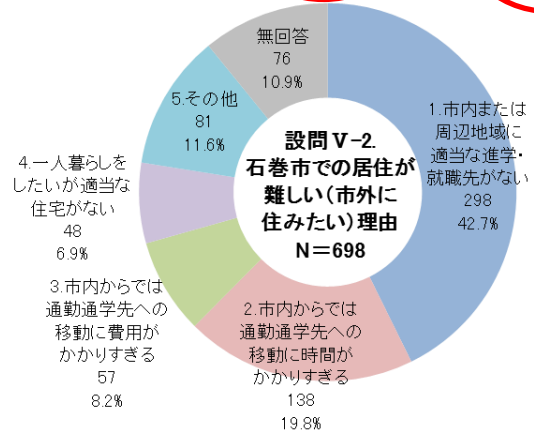
○ 卒業後は石巻市に住みたい・いつかは戻りたいが多いが、別の場所に移りたいも2割程度存在しており、適当な進学・就職先がないことが理由として挙げられている。

○ 戻ってくるために必要なこととして、「働ける場所が増える」が最多であり、次に「公共交通の利便性向上」となっている。

V-1. 卒業後の石巻市での居留意向

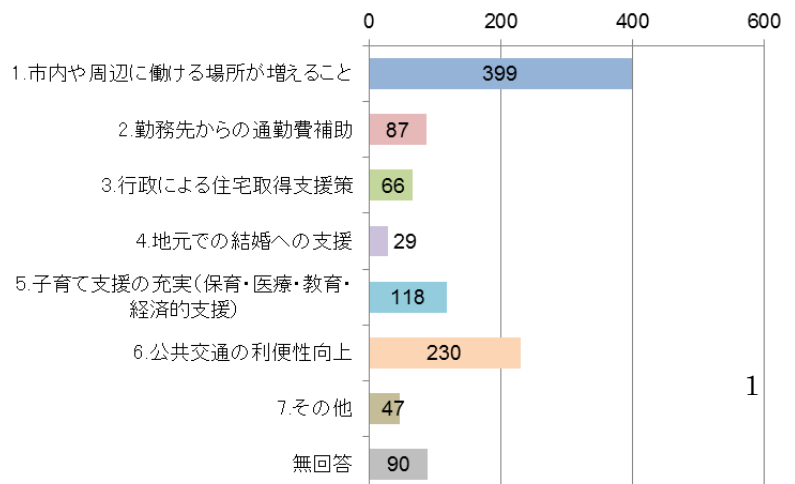


V-2. 石巻市での居住が難しい(市外に住みたい)理由



V-3. 戻ってくるため(Uターン)に必要なこと

設問V-3. いずれ石巻市に戻ってくるため(Uターン)に必要なこと (N=698:2つまで回答可)



自立計画届出書
(市外発送データ) 県外避難者名簿(宮城県)

市外避難者名簿

現況調査発送

回答内容											
再建予定者(市内・市外含む)				市内再建者				市外再建者			
これから				取得済み		引越し済		取得済み		引越し済	
建設・購入	復興公営住宅	市営・県営住宅	民間賃貸住宅	建設・購入	復興公営住宅	市営・県営住宅	民間賃貸住宅	建設・購入	復興公営住宅	市営・県営住宅	民間賃貸住宅

市内再建支援者
(宮城県との共有情報として提供し避難者交流会などで活用)

市内再建完了者

市外再建完了者

再建予定者(市内・市外含む)
これから
建設・購入 復興公営住宅 市営・県営住宅 民間賃貸住宅

各種支援情報提供
現況調査発送

回答内容											
再建予定者(市内・市外含む)				市内再建者				市外再建者			
これから				取得済み		引越し済		取得済み		引越し済	
建設・購入	復興公営住宅	市営・県営住宅	民間賃貸住宅	建設・購入	復興公営住宅	市営・県営住宅	民間賃貸住宅	建設・購入	復興公営住宅	市営・県営住宅	民間賃貸住宅

市内再建支援者
(宮城県との共有情報として提供し避難者交流会などで活用)

市内再建完了者

市外再建完了者

がんばる石巻応援寄附金概要（ふるさと納税）

■ふるさと納税とは

ふるさと納税とは、都道府県、市区町村への「寄附」であります。
一般的に自治体に寄附をした場合には、確定申告を行うことで、その寄附金額の一部が所得税及び住民税から控除されます。ですが、ふるさと納税では自己負担額の2,000円を除いた全額が控除の対象となります。

※但し、寄附金額には、個人住民税所得割の2割までなど、収入や家族構成等に応じて一定の上限がありますので、お住まいの市町村の住民税担当へご確認願います。

■ふるさと納税の特徴

- ◇寄附金額に応じて、御礼の特産品がもらえます。
- ◇石巻市出身者だけではなく、全国の皆様からの寄附受付は可能です。
- ◇寄附金額から2,000円除いた額が控除されます。
- ◇寄附金の使い道は寄附者が決められます。

■申込方法

インターネット、郵送、ファクシミリ、電子メールによる申込のほか、窓口において直接受付も行っている。

- ・平成26年度の申込み状況 ⇒ インターネットからの申請 約94%
- ・平成27年度の申込み状況 ⇒ インターネットからの申請 約95%

■納付方法

区 分	平成26年度	平成27年度
クレジット	約71.9%	約78.8%
郵便局振込	約24.2%	約19.1%
銀行振込	約3.1%	約1.8%
現金振込	約0.8%	約0.3%

■実 績

(千円)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
寄附金額	2,950	6,599	9,290	32,221	14,186	25,520	316,818	355,715
寄附件数	15	117	164	193	167	227	17,642	25,078

■寄附金の活用（充当額）

平成26年度

(円)

番号	寄附者指定区分	充当事業	充当額
1	市民協働の推進	市報いしのまき発行事業	100,000
2	教育の充実	学校図書整備事業	20,129,000
3	産業振興	まつりイベント事業	9,880,000
4	保健福祉の充実	乳幼児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業	2,380,400
5	環境保全や文化の振興	環境美化促進事業	50,000
6	道路・住宅・公共交通の充実	地域交通対策関係費	1,505,000
合 計			22,901,979

平成27年度

(円)

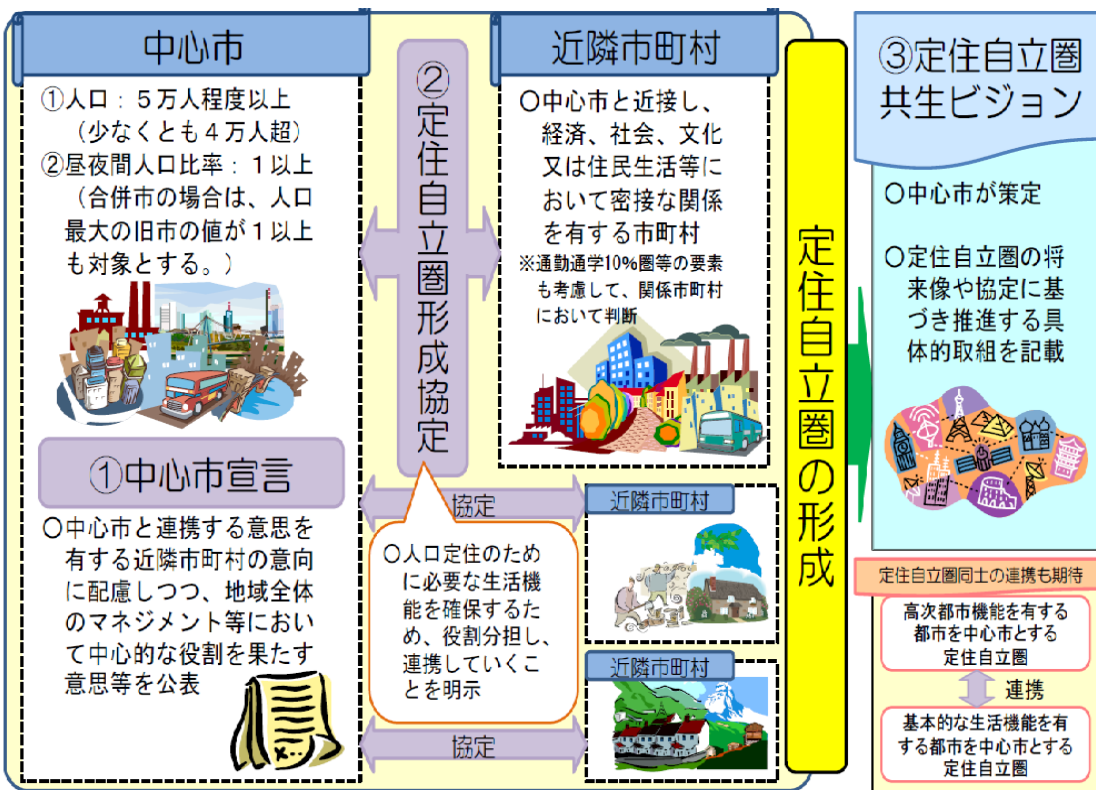
番号	寄附者指定区分	充当事業	充当額
1	市民協働の推進	市報いしのまき発行事業・消防自動車関係費	3,210,000
2	教育の充実	学校図書整備事業・子ども未来づくり事業	20,129,000
3	産業振興	まつりイベント事業・鹿又農業研修センター修繕	25,900,000
4	保健福祉の充実	乳児全戸訪問事業、放課後児童クラブ [※] 施設整備事業	26,000,000
5	環境保全や文化の振興	環境美化促進事業	8,000,000
6	道路・住宅・公共交通の充実	地域交通対策関係費・公園管理費	47,440,000
合 計			130,679,000

定住自立圏構想

中心市と近隣市町村が相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体として必要な生活機能等を確保し、地方圏における定住の受け皿を形成するもの。

～圏域に求められる役割～

- ①生活機能の強化（休日夜間診療所の運営、病児・病後児保育の実施、地場産業の育成等）
- ②結びつきやネットワークの強化（デマンドバスの運行、滞在型・体験型観光・グリーンツーリズムの推進等）
- ③圏域マネジメント能力の強化（合同研修の実施や職員の人事交流、外部専門家の招へい等）



日付	取組状況
H22.2.23	石巻市中心市宣言
4.26	石巻圏域定住自立圏形成推進会議設立
9.22	定住自立圏協定締結
10.1	石巻圏域定住自立圏形成協定調印式
11.2～	調整部会、ビジョン懇談会、推進会議等実施
H23.3.11	東日本大震災
3月下旬	石巻圏域定住自立圏共生ビジョン策定及び公表（実施できず）
H25.5	2市1町担当課長意見交換会
H27.2	2市1町担当課長意見交換会
H27.7	2市1町担当課長意見交換会